

氏名	EunDuck Park Kay
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2587 号
学位授与の日付	平成 5 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Corneal endothelial modulation : A factor released by leukocytes induces basic fibroblast growth factor that modulates cell shape and collagen (角膜内皮細胞の変化 : 白血球由来のある因子が角膜内皮細胞形態とコラーゲンの調節をおこなう basic fibroblast growth factor を誘発する)
論文審査委員	教授 松尾 信彦 教授 産賀 敏彦 教授 岡田 茂

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

申請者は、角膜内皮初代培養細胞が多核白血球が放出する角膜内皮細胞調節因子 (corneal endothelium modulation factor, CEMF) によって変化することを初めて示した。その変化は、敷石状の細胞形態から線維芽細胞様の細胞形態への表現型の転換と、Ⅳ型コラーゲンを中心とする基底膜コラーゲンからⅠ型コラーゲンを中心とするフィブリルコラーゲンを合成するようになるという表現型の質的転換を伴う。さらに、CEMFは塩基性 FGF (bFGF) の *de novo* 合成を誘導することを示した。したがって、上記角膜内皮初代培養系におけるⅣ型コラーゲン遺伝子からⅠ型コラーゲン遺伝子への発現転換は白血球由来 CEMF が bFGF の *de novo* 合成を介して起こるという結論を得た。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は角膜内皮初代培養細胞が多核白血球が放出する角膜内皮細胞調節因子によって変化することを初めて研究したものであるが、従来行なわれなかった角膜内皮細胞の変化について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。